



「ふるさと燕」を守ろう！

新型コロナウイルス感染症緊急対策 第2弾 **+** **5**

ファイブ

「新しい生活様式」への対応と「経済活動の再開」を支援
総額 **3.8** 億円の追加対策

「フェニックス11」4億円+「5つの追加対策」3.8億円 総額 **7.8**億円

幾多の逆境を跳ね返し、その度に不死鳥のように蘇ってきた燕市。新型コロナウイルス感染症に対しても、燕市独自の取組「フェニックス11+」を柱として、社会経済の状況により対策数を増やして取組を進め、子どもたちが帰って来られる「ふるさと燕」を守ります。

フェニックス11+

新潟県燕市

1 燕市独自の新たな対策 ^{ファイブ}+5

本市では、新型コロナウイルス感染症への対策として、国の緊急経済対策に加え、市独自の総合対策「フェニックス11（イレブン）」の推進のほか、感染状況を注視しながら段階的な学校の再開、公共施設の開館等を進めてきました。

政府の緊急事態宣言解除を受け、県はこれまでの方針を見直し、休業要請を解除するとともに、改めて県民に対して「新しい生活様式」の実践、日常のあらゆる場面での新型コロナウイルスへの警戒を呼びかけました。

これを受け、本市では、これまで自らの感染リスクがある中でも社会生活の維持を支えてきた人たちへの感謝の念を抱きつつ、市民生活への「新しい生活様式」の定着や、「社会・経済活動の再開」に向けた、新たな段階における市の独自対策として5つの対策を追加実施します。

独自対策の新たな視点

市民生活への「新しい生活様式」の定着とともに、社会生活を維持するための施設と位置付けられた施設等について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑え込みながら、社会経済活動を再開し、また、そのために必要な「新しい生活様式」への対応や定着を支援する事業を展開します。

- ① 「新しい生活様式」に対応するための対策
- ② 「社会・経済活動の再開と利用促進」を支援するための取組

※掲載事業の内容については5月29日現在のものであり、詳細については変更の可能性があります。

また、今後の社会経済の状況により、さらに対策数を増やして取り組んでまいります。

「新しい生活様式」に対応するための対策 ①

対策+1 水道料金（基本料金）の減免 150,000千円

新型コロナウイルス感染防止対策として、手洗いの実践など「新しい生活様式」を取り入れることによる経済的負担を軽減するため、水道料金の基本料金を全額減免し、市民生活や経済活動を支援します。

【対象期間】令和2年7月検針分から12月検針分までの6か月間

【対象者】官公庁と臨時用（一時的に使用するもの）を除く、市内のすべての使用者

（参考）R2.3.31時点給水件数

燕市	一般用	30,731件
	営業用	2,032件
	工場用	1,155件
	合計	33,918件

【減免の方法】◆燕・弥彦総合事務組合水道局から給水を受けている使用者・・・手続きは不要。

◆燕市区域内で三条市から給水を受けている使用者（小高・八王寺 29件）及び長岡市から給水を受けている使用者（真木山・大川津興野・下中条 39件）に対しては、水道基本料金相当額を補助金として交付。

【予算措置】◆燕・弥彦総合事務組合水道負担金 149,500千円

◆水道料金緊急対策補助金 500千円

【担当課】生活環境課、燕・弥彦総合事務組合 水道局経営企画課

▶つばめ元気かがやきポイント手帳の活用

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためには、施設や事業者などでの取組はもとより、市民一人ひとりの取組が重要です。そのため、「つばめ元気かがやきポイント手帳」を活用し、「新しい生活様式」の実践を記録することにより、感染防止に繋がる行動の定着を図ります。（ゼロ予算）

「新しい生活様式」に対応するための対策 ②

対策+2 社会生活維持サービス事業者の「新しい生活様式」対応支援 90,000千円

■ 廃棄物収集運搬・公共交通運行委託業者に対する感染防止対策物品等支給事業 3,000千円

市民生活の維持に必要不可欠な廃棄物収集運搬委託業者及び公共交通運行委託業者に対して感染防止対策に必要となる物品等を支給し、感染症対策の適切な実施と安全な業務の継続を支援します。

【支給物品】 感染症対策に必要となる手袋、消毒液、マスク等（6か月分相当）

【対象者】 廃棄物収集 : 一般廃棄物・し尿収集運搬委託業者（9社）
資源ごみ回収・分別業務委託業者（3団体）

公共交通運行：スワロー号・やひこ号・おでかけきららん号運行委託業者（7社）

【実施時期】 令和2年6月から

【担当課】 生活環境課・防災課

■ 福祉施設に対する「新しい生活様式」対応物品等整備費補助事業 30,000千円

新型コロナウイルス感染防止対策として、人との距離を保つなど、福祉施設における「新しい生活様式」に必要となる物品等の整備に係る費用を補助します。

【対象者】 市内介護サービス事業所、市内障がい福祉サービス事業所を運営する法人等

【対象経費】 新しい生活様式に対応するために必要な衛生用品（手指用・施設用消毒液、ビニールエプロン、マスク等）や、物品（スペース確保のためのテーブル・椅子、飛沫感染防止シールド、非接触式電子体温計、テレビ電話用タブレット端末等）の購入費

【補助率】 対象経費の1/2

1事業所あたり上限20万円(複数の事業所を運営する法人等は事業所数に20万円を乗じた額)

【対象期間】 令和2年6月から令和2年12月末まで

【担当課】 社会福祉課・長寿福祉課

■ 保育園・幼稚園・こども園・児童クラブ等職員の負担軽減事業 54,000千円

新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、就労をサポートするため子どもを預かる保育園、認定こども園、幼稚園児童クラブ及びなかまの会では、対応時間の延長のほか感染症予防対策のための消毒作業などが負担となっています。そのため、消毒に係る人員などの体制を充実し、現場の負担軽減を図ります。

1. 私立 保育園、認定こども園、児童クラブ 12,800千円

【実施内容】 感染予防対策に係る人員配置の経費を補助

【対象施設】 私立保育園および認定こども園（10園）、私立児童クラブ（1施設）

【対象期間】 令和2年6月から令和3年3月末まで

【補助率】 対象経費の10/10（上限 保育園・認定こども園 120万円、児童クラブ 80万円）

【担当課】 子育て支援課

2. 公立 保育園、認定こども園、幼稚園、児童クラブ、なかまの会 41,200千円

【実施内容】 令和2年度末までサポート職員を増員

【対象施設】 保育園、認定こども園および幼稚園（19園） 各園1人程度増員
児童クラブおよびなかまの会（17施設） 全体で8人程度増員

【担当課】 子育て支援課

■ 図書館の感染防止対策（図書消毒機の導入） 3,000千円

新型コロナウイルス感染症防止対策として、多くの人が直接手に触れる図書を紫外線で消毒する機器を導入します。

【設置場所】 燕市立図書館、燕市立吉田図書館、燕市立分水図書館 各1台

【担当課】 社会教育課

経済活動の再開と利用促進を支援するための取組 ①

対策+3 オンライン営業推進支援事業補助金 30,000千円

「新しい生活様式」に対応したビジネススタイル推進のため、市内事業者がWEB上での商品や技術紹介、オンライン商談などリモート営業を導入する際の費用の一部を補助します。

また、既存の「見本市出展小間料補助金」を見直し、オンライン展示会出展も補助対象とします。

【対象期間】 令和2年6月から令和3年1月末まで

【対象者】 市内中小企業者

【対象経費】 オンライン展示会出展など、リモート営業活動に必要なWEBサイト作成費用（リニューアル含む）、サーバー設置初期費用、独自ドメイン取得費用、ECサイト初期費用、動画制作費用等

【補助率】 対象経費の2/3、上限100万円

【担当課】 商工振興課

（参考）見本市出展小間料補助金 既決予算22,500千円

【対象期間】 令和2年6月から令和3年1月末まで

【対象者】 市内中小企業者

【対象経費】 オンライン展示会の出展料（追加）

【補助率】 対象経費の1/2、上限25万円

【担当課】 商工振興課

経済活動の再開と利用促進を支援するための取組 ②

対策+4 市内中小企業者に対する感染予防対策施設整備補助金 30,000千円

市内中小企業者に対し、感染防止対策に係る費用の一部を補助します。（県事業の上乗せ補助として実施）

【対象者】 市内中小企業者（全業種）

【対象期間】 県制度の詳細が明らかになった段階で調整します。

【対象経費】 飛散防止パネル、自動水栓、換気扇、消毒噴霧器等 ※県制度の詳細が明らかになった段階で調整します。

【補助率】 県補助額を除いた対象経費の1/2、上限30万円

【担当課】 商工振興課

▶「NO!!密（ノー・ミツ）」実践事業者登録事業

業種別ガイドラインに基づき、3密を回避する取り組みを実践している事業者に対してPRツールを配布するとともに、市の広報媒体等で紹介します。

【対象者】 ◆感染予防対策施設整備補助金を活用する事業者

◆上記以外の3密を回避する取り組みを実践している事業者

【担当課】 商工振興課

対策+5 燕応援フェニックスクーポン 80,000千円

市内登録店舗等で使えるクーポン券を広報媒体に掲載して全世帯に配布します。

【利用期間】 配布後～令和3年3月末 ※配布については準備が整い次第実施

【利用場所】 飲食店、小売店（大手スーパー・ドラッグストア、コンビニ等を除く）、理美容店、タクシーなどを対象
※市内の「NO!!密」実践事業者として登録されている事業者

【担当課】 商工振興課

財源措置について

「フェニックス11」及び第2弾の5つの追加対策を実行するため、次の財源を活用します。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

感染拡大の防止と、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が創設

- ◆ 交付限度額：人口、財政力、新型コロナウイルス感染症の感染状況、国庫補助事業の地方負担額等に基づき算定
・ 第一次配分額（地方単独事業分） **2億7,062万円**

市内事業所等からの寄附金（市内飲食店支援・雇用維持対策）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛により、大きな打撃を受けている市内の飲食業界等の支援のために、製造業や卸売業など市内飲食店との関わりが深い商工業3団体及び57社から、雇用維持対策のために建設業関係の1団体から、それぞれご寄附をいただきました。

- ◆ 寄附額合計 **2,870万円**

自治体クラウドファンディング型ふるさと燕応援寄附金

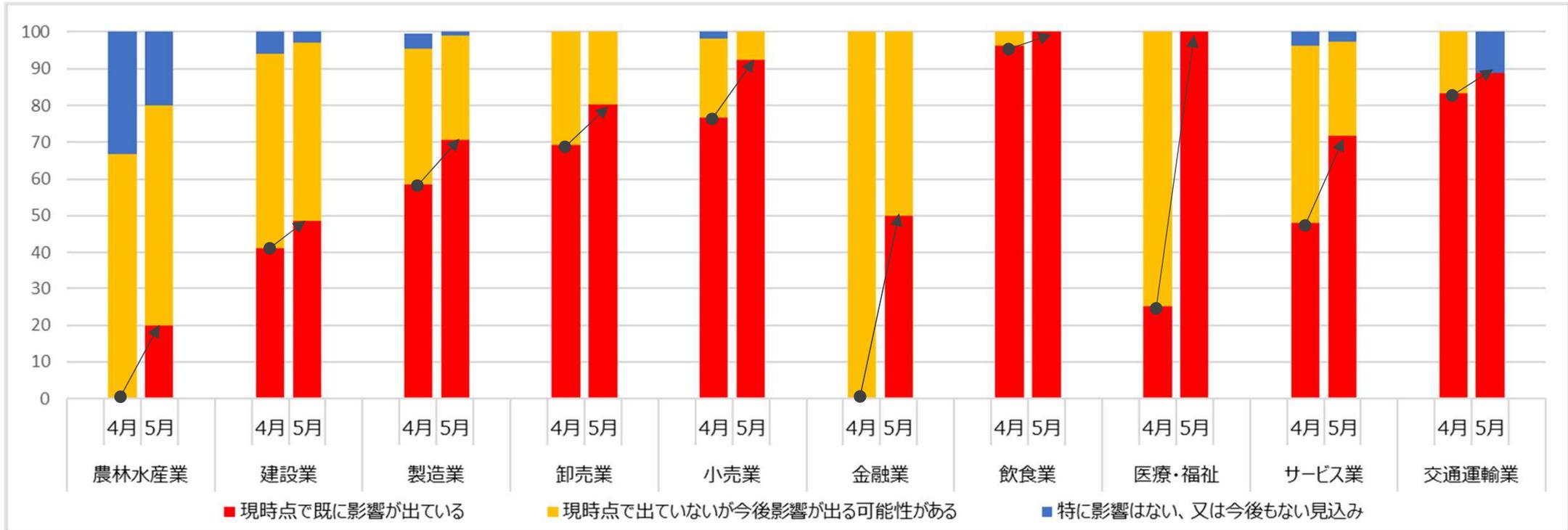
燕市独自の『新型コロナウイルス感染症対策』として募集目的を設定し4月30日から実施しています。

- ◆ 寄附目標額 **10億円**（対策の予算規模5～6億円を実質的に確保）
- ◆ 4月30日～5月26日現在申し込み **91,597千円（2,046件）**

【参考1】新型コロナウイルス感染症の市内経済への影響

※市内企業へのアンケート、ヒアリング調査結果から

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う市内経済への影響は、以前にも増して大きくなっており、さらなる対策を講じていく必要があります。



(令和2年5月度 複数回答)

内訳	農林水産業	建設業	製造業	卸売業	小売業	金融業	飲食業	医療福祉	サービス業	交通運輸業
製品・サービス等の受注・売上減少	80%	36%	83%	80%	92%	0%	92%	0%	67%	67%
自社の生産拠点・仕入れ先の変更による調達コスト増	20%	6%	6%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
サプライチェーンへの打撃による製品等の納期遅れ	0%	15%	14%	12%	15%	0%	0%	0%	0%	0%
消費マインドの悪化に伴う客数減少	0%	42%	13%	14%	42%	0%	69%	0%	33%	67%
従業員の休暇取得に伴う人手不足による企業活動の停滞	0%	15%	7%	10%	12%	50%	0%	0%	0%	22%
従業員や顧客の感染予防策等に伴うコスト増	0%	24%	17%	10%	31%	50%	23%	100%	31%	44%

アンケート及びヒアリング調査を通じた市内企業からの主な声

- ・新規顧客獲得のための営業活動や展示会出展ができない (製造業、卸売業)
- ・お客様への感染予防対策が負担となっている (飲食業)
- ・席数を減らしての営業や普段行っていないテイクアウトを行っている (飲食業)
- ・地域の商店でも活用できる支援策を用意してほしい (小売業)
- ・マスクと消毒液が不足している (医療福祉)

【参考2】フェニックス11進捗状況（令和2年5月26日現在）

対策	事業名	予算額	申請件数、申請額等
雇用の維持と事業の継続のための対策		239,000千円	
1	土地・建物賃借料補助金	30,000千円	128件、18,594千円
2	雇用調整助成金活用促進補助金	153,000千円	100社を超える市内企業がハローワーク巻に休業等計画届を提出済
3	県制度融資に対する信用保証料の補給	50,000千円 既決予算(20,000千円)	77件、36,256千円
4	テレワーク等BCP推進補助金	6,000千円	1件、75千円
需要喚起のための主な対策		81,800千円	
おいしい燕おとどけプロジェクト			
5	■ テイクアウト・デリバリー推奨補助金	10,000千円	10件、826千円 (6月中の実績を踏まえて申請をする意向の企業多数有)
	■ デリバリーサービス連携補助金	3,000千円	6月から支援内容を拡充して実施
	■ がんばろう燕！応援クーポン	16,000千円	加盟店51件 (6月末まで募集、状況により延長も検討 6/15広報つばめで各世帯に配布)
6	市内飲食店応援サポート補助金	14,500千円	12件、987千円 (問い合わせ多数)
7	燕(エン)JOYキッズ商品券	26,000千円	7月配布に向けて準備中
8	感染症対策商品の開発支援	12,300千円 既決予算(約12,700千円)	4件、6,204千円
生活維持のための対策		79,200千円	
9	ひとり親家庭等への臨時特別給付金	22,000千円	対象530世帯へ5/21給付済
10	貸与型就学援助金制度の新設	57,200千円	5件 500千円 (問い合わせ多数)
制度見直しによる生活弱者への支援			
11	■ 就学援助世帯への学校給食費相当の支給	既決予算 (6,000千円)	-
	■ 障がい者就労支援サービスの在宅利用要件の緩和	ゼロ予算	2事業所、計27名がサービス利用

【参考3】地方創生臨時交付金の活用事業

「フェニックス11」及び第2弾の5つの追加対策のほか新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用を予定している主な事業は以下のとおりです。

1. 団体への支援

(単位：千円)

活用事業	内容	事業費	予算区分
災害対策事業	燕市医師会・歯科医師会、福祉施設へのマスク（15,000枚）、フェイスガード（3,400枚）配布	680	第1号補正予算
PCRセンター設置支援	県央圏域の3つの医師会で検討を進めているPCR検査センターの開設を支援	200	第5号補正予算

2. 公共施設再開に向けた対応

活用事業	内容	事業費	予算区分
災害対策事業	公共施設に配備するマスク、手指消毒用液等の購入	970	第1号補正予算

3. 学校休校・再開に向けた対応

活用事業	内容	事業費	予算区分
児童クラブ運営事業 なかまの会運営事業	小学校休校に対応し、施設の開設時間を拡大	22,102	第5号補正予算
学校管理費	修学旅行の延期に伴うキャンセル料相当額を補助	3,852	第5号補正予算
学校衛生管理費	学校に設置する手指用消毒液、非接触式体温計等の配備	2,168	第5号補正予算
給食センター管理運営費	臨時休校に伴う学校給食停止により生じた損失に対する食材納入業者への補償等	3,225	第5号補正予算

4. 行政サービス維持のための対策

活用事業	内容	事業費	予算区分
災害対策事業	避難所における感染症拡大防止用パーティション等の整備	3,158	第3号補正予算
情報システム管理費	感染症拡大防止のための分散勤務体制を整備	858	第5号補正予算
乳幼児健診事業	3密を防止するため、集団健診の実施回数の増と一部健診の医療機関健診化	5,087	第5号補正予算
斎場管理事業	斎場における除染用資機材購入	852	第5号補正予算
常備消防事業	消防庁舎における除染用資機材購入、自動水洗化等感染症防止対策	6,762	第5号補正予算